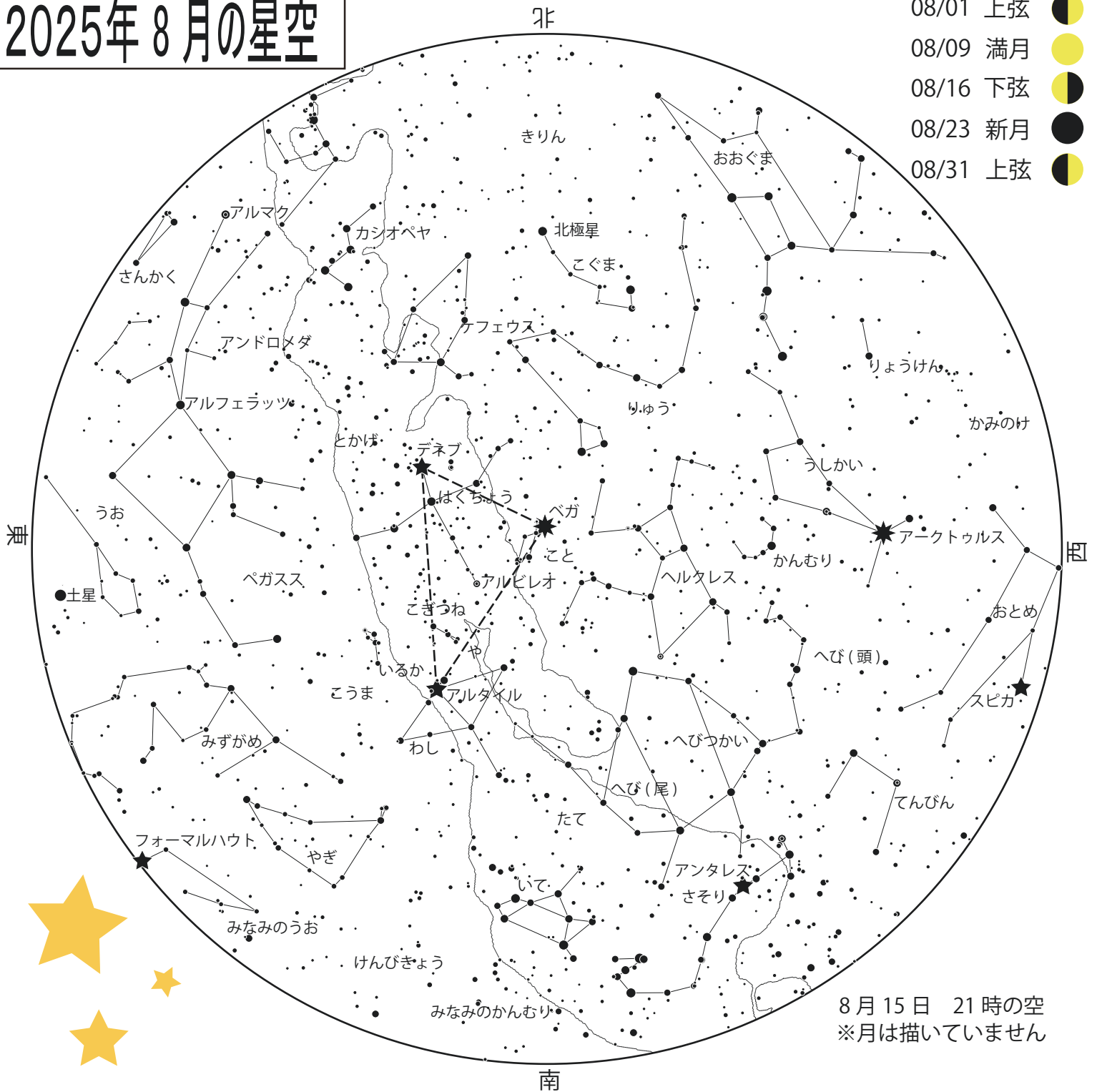


姫路で見る 2025年8月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 08/01 上弦 
- 08/09 満月 
- 08/16 下弦 
- 08/23 新月 
- 08/31 上弦 



8月15日 21時の空
※月は描いていません

日没の後、**こと座**の**ベガ**、**わし座**の**アルタイル**、**はくちょう座**の**デネブ**の明るい一等星をつないでできる「**夏の大三角**」が見えています。空の高いところまで昇るので、よく目立ちます。この時期は、夜のはじめの頃から明け方まで一晩中見えているので、まさに夏のシンボルと言えます。空が十分に暗ければ、南へと続く**天の川**の淡い光も見えることでしょう。

南の空の低いところでは、**いて座**が**さそり座**を弓矢で狙っています。サソリが暴れて毒針を振り回さないよう、見張っているかのようです。いて座には「**ティーポット**」と呼ばれる星の並びがあって、その注ぎ口から湯気が出て、**天の川**につながっているように見えます。

今月は、肉眼で楽しめる天文現象が目白押しです。12日の未明には**金星**と**木星**が近づき、その夜には**月**と**土星**が接近します。13日未明には「**ペルセウス座流星群**」が見ごろを迎え、1時間に30個ほどの流れ星を楽しめるでしょう。19日には**水星**が「**西方最大離角**」を迎え、観望の好機です。旧暦の7月7日は、現在の暦では今年は8月29日で、この日が「**伝統的七夕**」になります。